

令和7年度 岡山県主催

入場無料

第3回

定員70名

強度行動障害

のある人への支援をみんなで考える

シンポジウム in岡山

～行動障害のある人の生きづらさを知る～

生きづらさを抱えている人達の背景を知る
生きづらさを抱えている人たちとの向き合い方を知る

日時 令和8年 2月21日（土）

13:00～16:30（開場12:30）

場所 きらめきプラザ 401会議室

岡山市北区南方2丁目13-1

※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

プログラム

○はじめに「強度行動障害支援の基本」 13:00～13:30



川西 大吾 氏

一般社団法人GENKI人材教育研究所
代表理事

○ワークショップ 13:30～15:30

「イトコサガシ」

冠地 情 氏

東京都発達障害者当事者団体
イトコサガシ 代表



○シンポジウム 15:40～16:20

「イトコサガシは、強度行動障害支援の理解に繋がる」

シンポジスト 冠地 情 氏 川西大吾 氏

強度行動障害 とは

人に対して叩く、噛みつく、頭突きする。自分の顔が腫れあがるまで何度もたたき続ける、壁や窓ガラスに思い切り自分の頭を打ち付ける、物があると壊さないと気が済まない、1日のうち何度も大声を張り上げる。

通常の支援ではなかなか対応が難しい行動が表れている状態を「行動障害」または「強度行動障害」と呼びます。

行動障害を表している人は、人を困らせたいがために行っているわけではありません。自己の中の不安や混乱が極限に達した時に、行動障害でしか自分の生きづらさを表現する方法がない状態に陥っているのです。

今回のシンポジウムでは、行動障害を表す人達がどうして生きづらさを抱えてしまうのか？その人たちが感じていて、私たちは感じられていないこと。私たちが普通にできることがなぜ、生きづらさを抱えている人たちは、それができないのか？その背景にある要因、また効果的な支援の考え方、対応のコツなど、一般の方でも分かりやすいように専門用語を使わず、体験型のワークショップを通じて伝えていき、みんなで考え、多様性を認め合える社会を築く第一歩にしていきたいと思います。「誰もが自分らしく生きていける世の中に」。共生社会の実現に向けて、一人でも多くの方に知っていてもらいたい内容です。お時間のある方はぜひ会場へ足を運んでください。

こんな方におすすめ

- ・ 実際、行動障害のある人への支援で悩んでいる。
- ・ 体験型ワークを通じて、生きづらさのある人の気持ちを知りたい。
- ・ 直接関係はないが、行動障害のある人への支援方法を知りたい。
- ・ 現場で支援の統一を図りたいが、なかなかうまくいかず、悩んでいる。
- ・ 強度行動障害の支援に携わることで得られるメリットを知りたい。

申し込み方法

定員70名

※申し込み多数の場合はお断りの連絡をさせていただく場合があります。お早めの申し込みをお勧めします（定員に達し次第、締め切らせていただきます）。

パソコン、スマートフォン、FAXでお申し込みください。

<https://forms.gle/1KRv7fSjjk7EyXiw8>



申し込みQRコード

所 属 (個人の場合は 「個人」)	(フリガナ) 氏 名	連絡先 ①メールアドレス ②電話番号
		① ②
		① ②
		① ②

質問事項

申し込み締め切り 令和8年2月9日(月)

記入いただいたメールアドレス、電話番号等の個人情報は、本シンポジウムに関する連絡のみに使用します

お問い合わせ 一般社団法人GENKI人材育成研究会 Tel 090-3371-4663 (川西)